



USE-DIAL-PLAN トークンのルーティングの影響

Revised May 30, 2007

加入者が interLATA 番号にコールを発信すると、Cisco BTS 10200 ソフトスイッチはその加入者に割り当てられた interLATA 通信事業者 (PIC1) を介してコールをルーティングします。その後、コールは CARRIER テーブルでプロビジョニングされたルート ガイド ID を介してルーティングされます。また、Service Provider (SP; サービス プロバイダー) も長距離サービスを提供している場合、SP は CARRIER テーブル内の USE-DIAL-PLAN トークンを使用できます。CARRIER テーブルで USE-DIAL-PLAN フラグが設定されている場合、Cisco BTS 10200 ソフトスイッチは CARRIER ルーティングを省き、代わりに DESTINATION テーブルに指定されたルートに基づいてコールをルーティングします。

ダイヤルした番号の NPA-NXX-(X) が PORTED-OFFICE-CODE テーブルに定義されており、ダイヤルした番号が BTS 10200 ソフトスイッチにローカルに定義されていない場合、BTS 10200 ソフトスイッチは LNP クエリーを起動します。LNP クエリーが LRN を返すと、コールは LRN に基づいてルーティングされます。それ以外の場合、コールは、元のダイヤルされた番号の DESTINATION テーブルに指定されたルートに基づいてルーティングされます。ポリシー ベース ルーティングが必要な場合は、DESTINATION テーブルに ROUTE-GUIDE-ID がプロビジョニングされます。それ以外の場合、ROUTE-ID がプロビジョニングされます。

表 B-1 に、Carrier テーブルの USE-DIAL-PLAN トークンがルーティングにどのように影響するかを示します。

表 B-1 USE-DIAL-PLAN トークンのルーティングへの影響

コールのタイプ	USE-DIAL-PLAN=Y	USE-DIAL-PLAN=N
NAT 1+ コール	ダイヤルプランに基づくルーティング。	Carrier テーブルに基づくルーティング。
OPR 101XXXX+0-、00 オペレータ コール	Subscriber Profile テーブルの EA-USE-PIC1 フラグに基づきます。EA-USE-PIC1 フラグが N に設定されている場合、コールは LEC OSS にルーティングされます。それ以外の場合は、PIC1 を使用します。 通信事業者がオペレータ サービスをサポートしている場合は、Carrier テーブルに定義されているルート ガイドを使用します。それ以外の場合は、LECOSS-RG を使用します。	USE-DIAL-PLAN=Y と同じ。

表 B-1 USE-DIAL-PLAN トークンのルーティングへの影響 (続き)

コールのタイプ	USE-DIAL-PLAN=Y	USE-DIAL-PLAN=N
NAT-OPR (101XXXX) 0+ コール	Subscriber Profile テーブルの EA-USE-PIC1 フラグに基づきます。EA-USE-PIC1 フラグが N に設定されている場合、コールは LEC OSS にルーティングされます。それ以外の場合は、PIC1 を使用します。 通信事業者がオペレータ サービスをサポートしている場合は、Carrier テーブルに定義されているルート ガイドを使用します。それ以外の場合は、LECOSS-RG を使用します。	USE-DIAL-PLAN=Y と同じ。
SAC SAC コール (500、700、900)	ダイヤル プランに基づくルーティング。	Carrier テーブルに基づくルーティング。
DA ディレクトリ アシスタンス (DA、DA-TOLL)	ダイヤル プランに基づくルーティング。	Carrier テーブルに基づくルーティング。
TOLL-FREE フリーダイヤル コール (8XX)	ダイヤル プランに基づくルーティング。	Carrier テーブルに基づくルーティング。
INTL (101XXXX) 011+ 国際コール	国際ダイヤル プランに基づくルーティング。	Carrier テーブルに基づくルーティング。
INTL-OPR (101XXXX) 01+ 国際オペレータ コール	Subscriber Profile テーブルの EA-USE-PIC1 フラグに基づきます。EA-USE-PIC1 フラグが N に設定されている場合、コールは LEC OSS にルーティングされます。それ以外の場合は、PIC1 を使用します。 通信事業者がオペレータ サービスをサポートしている場合は、Carrier テーブルに定義されているルート ガイドを使用します。それ以外の場合は、LECOSS-RG を使用します。	USE-DIAL-PLAN=Y と同じ。
CUT-THRU 101XXXX+#	通信事業者情報を使用します。Carrier テーブルに定義されたルート ガイドを使用します。	USE-DIAL-PLAN=Y と同じ。
COIN/Hotel-Motel 公衆電話回線 (OLI = 23、27、70) ホテル/モーテル回線 (OLI = 6)	オペレータ コールとして処理されます。通信事業者がオペレータ サービスをサポートしている場合は、Carrier テーブルに定義されているルート ガイドを使用します。それ以外の場合は、LECOSS-RG を使用します。	USE-DIAL-PLAN=Y と同じ。